

キャリアアッププログラム2016（1学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	国際経済学入門	
副題	「国際経済学」の基礎を学んで、ライバルに差をつけたいあなたのために	
受講対象者	「国際経済学」の基本理論を学びたい方、日本経済新聞の経済記事を読み解くために必要な知識を得たい方、国際金融関連のベーシック科目、ステップアップ科目に進みたい方	
講座概要	グローバル経済といわれる今日、国内の様々な経済問題は相互に関係し、そして密接に世界経済とつながっています。今回の講義では、まず国内経済問題を考え、その背景にある国際経済の問題について、テーマ別に考えていきます。例えば、空洞化問題、異次元緩和、国債問題、為替介入と円高・円安、株価の変動、TPP参加と規制緩和など、それら国内問題と深くかかわっている世界経済の状況とその影響の経路について考えます。（※下記の授業内容の順番とそのテーマは、経済状況と受講者の関心によって変わる可能性があります。）	
到達目標	経済記事やテレビの経済ニュースを体系的に捉えることができる。複雑な国際経済の諸問題に対して、経済学的な視点を持つ。	
授業計画 および開講日	第1回 5/26(木)	日本経済の現状とアベノミクス
	第2回 6/2(木)	貿易構造と世界の貿易システム・FTAの流れ
	第3回 6/9(木)	円安・円高と為替介入
	第4回 6/16(木)	欧米の金融危機と日本の役割
	第5回 6/23(木)	ASEAN 経済共同体(AEC)と日本企業・政府の戦略
	第6回 6/30(木)	グローバル経済における日本の地方経済
授業の形式	パワーポイントを使った座学中心ですが、受講者からの質問や議論による双方向授業を目指します。	
授業の進め方	毎回のテーマについて概略を説明したあと、受講者のみなさんの意見や質問を出していただきます。後半、問題提起を明確にし、それについて考えていきます。	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	ぜひ、皆様が現場で見たこと、経験したこと、そしてその中で疑問に思ったことなど、お聞かせください。	
講師紹介	 <p>野北 晴子（のきた はるこ） 経済学部 経済学科 教授 経済学修士</p> <p>佐賀県生まれ。1986年佐賀大学経済学部卒業、1989年広島経済大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了、1993年同大学院経済学研究科博士課程後期満期退学、1990年広島経済大学助手、1994年講師、2001年助教授を経て、2007年より現職。現在の研究テーマは、ASEAN 諸国における日本企業の動向と日本経済。</p>	